

龍 門

第 34 号



平成16 (2004) 年

鹿児島県立加治木高等学校同窓会

目次

高校部会 基軸の龍門会活動を……	同窓会会長 池田正夫……	1
就任の挨拶……	校長 上村英治……	1
退任の挨拶……	前校長 吉元正幸……	1
平成十五年度同窓会総会……	高次部会部長 溝口宏二……	2
ごあいさつ……	高次部会部長 溝口宏二……	3
平成十五年度高校部会総会……	同窓会入会式……	3
同窓会入会式……	同窓会の現況……	4
同窓会の現況……	同窓会会務報告……	5
同窓会会務報告……	各支部日より……	5
各支部日より……	北海道龍門会・関東龍門会・近畿龍門会・東海龍門会……	6
北海道龍門会・関東龍門会・近畿龍門会・東海龍門会……	福岡龍門会・熊本龍門会・宮崎龍門会・鹿児島龍門会……	5
福岡龍門会・熊本龍門会・宮崎龍門会・鹿児島龍門会……	奈良支部・加治木龍門会・鉄道龍門会・肥前線会……	5
奈良支部・加治木龍門会・鉄道龍門会・肥前線会……	同窓会事務局日より……	5
同窓会事務局日より……	同窓会本部役員・支部連絡先……	5
同窓会本部役員・支部連絡先……	同窓会だより……	13
同窓会だより……	中四十三回、高二回、鑑主会、テンガラモン会……	15
中四十三回、高二回、鑑主会、テンガラモン会……	高七回、高十回、高十一回、蒲生分校会……	14
高七回、高十回、高十一回、蒲生分校会……	特別寄稿・まぼろしの九州上陸作戦（川野泰明）……	20
特別寄稿・まぼろしの九州上陸作戦（川野泰明）……	・異文化の中で（久保清昭）……	21
・異文化の中で（久保清昭）……	・中学校と陸軍軍人（吉岡秀雄）……	22
・中学校と陸軍軍人（吉岡秀雄）……	学びの案内人講演要旨……	23
学びの案内人講演要旨……	創立記念講演要旨……	24
創立記念講演要旨……	新聞等記事より……	25
新聞等記事より……	加治木高等学校の現況……	28
加治木高等学校の現況……	平成十五年度教育振興会事業報告……	28
平成十五年度教育振興会事業報告……	平成十五年度入試状況……	29
平成十五年度入試状況……	編集後記……	29

近畿龍門会

事務局 宮里保男

(高二十四回卒)

第三十九回近畿龍門会総会は、平成十五年六月十三日(即、梅田スカイビル奇しくも三十九層の中国料理・樓宮(さんぐう)にて行われました。

母校から池田正大同窓会会長、柏木 伍木部事務局長、吉元正幸校長先生の来賓(名をお迎えし総勢五十八名(男性四十一名、女性十七名)内、現役学生四名が参加して盛大に行われました。

総会は物故会員への黙祷に始まり宗像会長(高十一回卒)の挨拶、会計報告、吉元校長先生の挨拶では文武両道の学生生活の現状(走り幅跳び九州チャンピオン誕生や入塾大会でのハンドボール、サッカー部の活躍等)が紹介されました。

池田会長は、総会へ毎回御高給の先陣方が御出席される現実に、御自身が驚きおられる感謝されておられることお話しされました。

第一部の宴会は乾杯の挨拶を岩下正弘氏(高三回卒)が行い開始しました。

程よく酔いが回り恒例のオークション、進行は佐々木事務局長と村田好夫氏(高十六回卒)が自発的に取り仕切り、当日空路運ばれ

た加治木製菓や焼酎をはじめ蘭の酒、ウイスキー、古物等々盛りなく落ちた、龍門会運営として備蓄することになりました。

飛び入りの小原氏の自己満了、開募大会優勝の近況報告、南日本放送大阪営業所勤務の先輩によるデジタル放送のPR等々であった言いつきに時間が過ぎ、校歌斉唱の時間となりました。

佐々木事務局長の気合いの入った音頭取りで全員元気いっぱいになった。

東海龍門会

幹事 有村和人

(高三十回卒)

龍門会の皆様には、ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当地では、出歩き易く清しい気候の平成十五年五月十八日(旧年後十二時三十分からホテルキャッスルプラザ(名古屋駅前)に於いて、出席会員三十一名(内女性十三名)により東海龍門会(旧名古屋龍門会)総会を開催しました。

その主な議事内容は、収支報告と活動報告でした。

続いて、記念撮影を行い、懇親

校歌絶唱、すがすがしい一時でした。

万歳三唱は新村 勝氏(併一回卒)が、開会の挨拶を前会長見玉功氏(高九回卒)がそれぞれ思いを込めてして頂き、幕を閉じることになりました。

尚、今回の総会案内は五百一十通、内二百一十通返信をいただきました。また昨年度の年会費納入者は百三十一名でした。

大切に運用させていただきます。来年もたくさんの方が、ご参加いただき、その喜びを伝達を味わって頂きますよう企画したいと思っております。すばらしい出会いがありますようお願いいたします。

会へと移り、遠路お迎えした柏木同窓会事務局長、吉元校長の両先生に各地の龍門会や母校の近況をお話いただきました。

「かごんま」が飛び交い、いも焼酎の香りが染みこみ心地よい宴となり、恒例である旧中、旧高女、高校の校歌を合唱、名残惜しみつつ再開を契り中絶いたしました。

平成十二年二月に龍門会支部を東海地区で再開してから四年が経ち、その間、ご参加をお誘いすべく愛知、岐阜、三重、静岡にお住まいの事務局が把握する皆様へ、ご案内活動をしてきました。

これは、毎年、約三百五十名発送、お返事を概ね百名、会費は約八十名の方々からお寄せいただき、お書添えの近況報告が載った総会記念冊子、当日、お仕事や他ならぬ事情などで欠席された方との親交にお役立ていただいております。発行も三回を重ねております。

また、総会開催の準備会合で、次年度へ向けて結束を約するため親睦会として、忘年会、新年会も定例化し、総会の反響会を兼ねた納涼会は、ときとして県人会や錦江クラブの催しが、ミニ龍門会となり、顔を見ないと「いけんしちよっどかい」など有になります。和んだ雰囲気、若い世代の参加を呼び込み、出席者の増加を期す。

福岡龍門会

事務局長 萩之内 八州

(高十五回卒)

第十六回福岡龍門会は平成十五年六月十二日(日)に博多駅近く、スフィックスの形をした建物のハイアット・リージェンシー・福岡に於いて開催しました。

三十七名の会員に加え本部から安藤 旭副会長、母校から九万田 昭教授先生にご出席頂きました。総会は安藤副会長より、本部総会の報告があり、本部総会への出



2003年度東海龍門会通常総会

同 窓 会 本 部 役 員

支 部 名	役 職 ・ 氏 名	住 所	電 話 番 号
会 長	池 田 正 夫 (中43回)	〒890-0082 鹿児島市紫原1-56-11	☎099-255-4474
副 会 長	安 藤 旭 (高2回)	〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16-1318	☎099-225-3456
副 会 長	西 迫 雅 子 (高5回)	〒899-5222 始良郡加治木町錦江町175	☎0995-63-3197
副 会 長	二 見 剛 史 (高10回)	〒899-6405 始良郡清辺町崎崎2731-5	☎0995-58-3878
事 務 局 長	柏 木 信 (高9回)	〒899-5433 始良郡始良町西宮島町4-8	☎0995-67-3383
監 事	川 野 泰 明 (中45回)	〒899-4316 国分市上小川304	☎0995-47-0068
監 事	横 渡 三 継 (高11回)	〒899-5652 始良郡始良町平松6219	☎0995-67-3603

同 窓 会 支 部 連 絡 先

支 部 名	役 職 ・ 氏 名	住 所	電 話 番 号
北海道龍門会	会 長 住 吉 修 (高7回)	〒069-1273 苫小牧市明徳町3-5-7	☎0144-67-3016
	事務局 高 原 昭二 (高22回)	〒001-0856 札幌市北区屯田 6 条7-3-5-504	☎0111-774-7898
東北龍門会	会 長 信 國 道 雄 (中45回)	〒985-0055 塩釜市赤坂1-1-1101	☎022-366-1945
関東龍門会	会 長 朝 倉 正 昭 (高11回)	〒156-0055 世田谷区船橋6-11-7	☎03-3329-4546
	事務局 渡 田 泰 啓 (高11回)	〒350-1151 川越市今福1111-51	☎0492-46-3430
近畿龍門会	会 長 宗 像 恵 (高11回)	〒578-0961 東大阪市南鴻池町2-15-20	☎06-6746-7549
	事務局 佐々木哲郎 (高21回)	〒586-0035 河内長野市小堀町636-4	☎0721-63-1102
東海龍門会	会 長 西 山 一 郎 (高3回)	〒487-0035 春日井市藤山台5-10-15	☎0568-91-8801
	事務局 徳 丸 千 利 (高10回)	〒453-0862 名古屋市中村区岩塚町5-17	☎052-414-0992
福岡龍門会	会 長 浜 川 皓 (高12回)	〒819-0052 福岡市西区生の松原3-8-511	☎092-882-4794
	事務局 森之内八州 (高12回)	〒811-3106 古賀市吉1-14-24	☎093-63-3753
熊本龍門会	会 長 新 納 義 明 (高8回)	〒861-5252 熊本市上河原町336-17	☎096-227-1348
	事務局 岡田兼二郎 (高40回)	〒860-0812 熊本市南熊本5-10-28-1001	☎096-372-5347
宮崎龍門会	会 長 池之上武男 (高8回)	〒880-0032 宮崎市露島町2-208	☎0985-23-4651
	事務局 横 山 和 人 (高7回)	〒880-0953 宮崎市小松台東2丁目5-4	☎0985-47-8466
鹿児島龍門会	会 長 安 藤 旭 (高2回)	〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16-1318	☎099-225-3456
	事務局 金 城 敏 (高25回)	〒891-1203 鹿児島市伊敷台2-7-13	☎099-220-0823
始良支部	会 長 木 間 効 (高3回)	〒899-5543 始良郡始良町下名1142	☎0995-65-5304
	事務局 下 柊元鉄男 (高21回)	〒899-5651 始良郡始良町龍元437	☎0995-65-0598
加治木龍門会	会 長 宮 路 義 和 (高6回)	〒899-5241 始良郡加治木町木田2039-1	☎0995-63-4213
隼人龍門会	会 長 岩 城 義 雄 (中37回)	〒899-5112 始良郡隼人町松永1224	☎0995-42-0852
	事務局 松 崎 孝 成 (高27回)	〒899-5192 隼人町内山田7 隼人町役場内	☎0995-42-1111
吉松支部	支部長 福 元 和 人 (中47回)	〒899-6103 始良郡吉松町川添1483	☎0995-75-2866
国分支部	支部長 船 盛 一 美 (中47回)	〒899-4342 国分市野口町14-38	☎0995-47-0046
溝辺支部	支部長 松 山 淳 一 郎 (高2回)	〒899-6401 始良郡清辺町有川625-135	☎0995-59-2363
三師龍門会	会 長 有 馬 榮 徳 (高3回)	〒890-0082 鹿児島市紫原6-33-19	☎099-254-3298
	事務局 立 石 基 高 (高23回)	〒899-5211 始良郡加治木町新富町105	☎0995-62-2007
鉄道龍門会	会 長 田 村 勝 則 (高2回)	〒899-5105 始良郡隼人町小田2474-8	☎0995-47-7707
	事務局 松 水 喜 明 (高21回)	〒890-0045 国分市清水3-11-6	☎0995-47-7707
県警龍門会	会 長 取 連 俊 一 (高16回)	〒890-0064 鹿児島市鴨池新町2-1-601	☎099-256-2273
	事務局 川 畑 正 和 (高16回)	〒890-0064 鹿児島市鴨池新町10-1 県警本部	☎099-206-0110

異文化の中で

旧加中時代の先生が支えに

元国際協力事業団派遣専門家

久保 清 昭

(旧四十三回卒)

我がが学んだ旧制中学では、国語・漢文・英語・数学の四教科の学習が、重点的に行われた。その漢文を教えた戴いた徳政一先生からは、非常に強い影響を受けたようには実感している。漢文の教科書に出てくる中国の古典や漢詩などを通じ、具現されている当時の思想に接する異文化の中でしばしば先生は上手に紹介していただいた。これは事実である。



我がが学んだ旧制中学では、国語・漢文・英語・数学の四教科の学習が、重点的に行われた。その漢文を教えた戴いた徳政一先生からは、非常に強い影響を受けたようには実感している。漢文の教科書に出てくる中国の古典や漢詩などを通じ、具現されている当時の思想に接する異文化の中でしばしば先生は上手に紹介していただいた。これは事実である。

我がが学んだ旧制中学では、国語・漢文・英語・数学の四教科の学習が、重点的に行われた。その漢文を教えた戴いた徳政一先生からは、非常に強い影響を受けたようには実感している。漢文の教科書に出てくる中国の古典や漢詩などを通じ、具現されている当時の思想に接する異文化の中でしばしば先生は上手に紹介していただいた。これは事実である。

我がが学んだ旧制中学では、国語・漢文・英語・数学の四教科の学習が、重点的に行われた。その漢文を教えた戴いた徳政一先生からは、非常に強い影響を受けたようには実感している。漢文の教科書に出てくる中国の古典や漢詩などを通じ、具現されている当時の思想に接する異文化の中でしばしば先生は上手に紹介していただいた。これは事実である。

我がが学んだ旧制中学では、国語・漢文・英語・数学の四教科の学習が、重点的に行われた。その漢文を教えた戴いた徳政一先生からは、非常に強い影響を受けたようには実感している。漢文の教科書に出てくる中国の古典や漢詩などを通じ、具現されている当時の思想に接する異文化の中でしばしば先生は上手に紹介していただいた。これは事実である。

我がが学んだ旧制中学では、国語・漢文・英語・数学の四教科の学習が、重点的に行われた。その漢文を教えた戴いた徳政一先生からは、非常に強い影響を受けたようには実感している。漢文の教科書に出てくる中国の古典や漢詩などを通じ、具現されている当時の思想に接する異文化の中でしばしば先生は上手に紹介していただいた。これは事実である。

我がが学んだ旧制中学では、国語・漢文・英語・数学の四教科の学習が、重点的に行われた。その漢文を教えた戴いた徳政一先生からは、非常に強い影響を受けたようには実感している。漢文の教科書に出てくる中国の古典や漢詩などを通じ、具現されている当時の思想に接する異文化の中でしばしば先生は上手に紹介していただいた。これは事実である。

我がが学んだ旧制中学では、国語・漢文・英語・数学の四教科の学習が、重点的に行われた。その漢文を教えた戴いた徳政一先生からは、非常に強い影響を受けたようには実感している。漢文の教科書に出てくる中国の古典や漢詩などを通じ、具現されている当時の思想に接する異文化の中でしばしば先生は上手に紹介していただいた。これは事実である。

我がが学んだ旧制中学では、国語・漢文・英語・数学の四教科の学習が、重点的に行われた。その漢文を教えた戴いた徳政一先生からは、非常に強い影響を受けたようには実感している。漢文の教科書に出てくる中国の古典や漢詩などを通じ、具現されている当時の思想に接する異文化の中でしばしば先生は上手に紹介していただいた。これは事実である。

我がが学んだ旧制中学では、国語・漢文・英語・数学の四教科の学習が、重点的に行われた。その漢文を教えた戴いた徳政一先生からは、非常に強い影響を受けたようには実感している。漢文の教科書に出てくる中国の古典や漢詩などを通じ、具現されている当時の思想に接する異文化の中でしばしば先生は上手に紹介していただいた。これは事実である。

我がが学んだ旧制中学では、国語・漢文・英語・数学の四教科の学習が、重点的に行われた。その漢文を教えた戴いた徳政一先生からは、非常に強い影響を受けたようには実感している。漢文の教科書に出てくる中国の古典や漢詩などを通じ、具現されている当時の思想に接する異文化の中でしばしば先生は上手に紹介していただいた。これは事実である。

場合など、あの徳政先生のお言葉
を思い出していたからである。
こうして考えれば、若い時代の
ある。

中学校と陸軍軍人

陸士五十九期 吉 満 秀 雄
(旧中四十二回卒相当)

加治木中学校出身者で陸軍の
将校への道を歩いた、百二十六名
(うち戦死者は二十六名)の名簿
が出来ました。同窓会事務局に保
管されています。

戦争と私

私は昭和十三年四月、加治木中
学校(男子の五年生制度)に入學
しました。十二歳でした。

昭和二十年八月、終戦の時は満
洲(現在の中国東北地方)におり
ました。陸軍航空士官学校の生徒
で戦闘機の訓練中でした。

既に、サイパン島、テニアン島
は米軍に占領され、そこからの爆
撃機B29を受け、東京はじめ日本
各地が空襲を受けていました。沖
縄も米軍に占領されているという
状況下でしたから、自分の命は二
十歳位と思っていました。

八月六日、広島に原爆が投下さ
れ、日本の敗北が決定的になる。九
日、長崎原爆の数時間前に連軍
軍が満洲に侵入して来ましたが、
人々と一般兵士の約六十万人が、シ
ベリアに連行、拘留され、零下三
十度の中で労働を強制され、約六

教育環境が長い人生において如何
に重要かと実感する今日この頃で
ある。

万人が死亡したと言われます。

当時は、日ソ中立条約の有効期
間などが、戦争に負けて、条
約など一片の紙に過ぎないという、
冷徹な国際政治の現実を体験しま
した。

昭和二十四年に、東京の有楽町
駅に下りて驚きました。見渡す限
り東京湾まで一面の焼け野が原、
瓦礫の山でした。

それから私は、夢中で我武者
羅に働いて来ました。

私は幸運にも元気で七十八歳に
なりました。誠に感謝深いものが
あります。

懐かし学校

私達が学んだ中学校は、昭和二
十年八月十一日、米軍の空襲を受
け校舎は消失しましたが、二十四
年に男女共学の加治木高校として
新築しました。そして今年の三月
には第五十六回生が卒業します。

今後も「堅忍不拔・質朴剛毅・清
新剛毅」の若者達の下で、毎年沢山
の有望な学生が巣立って行くで
しょう。

私は昨年十一月、久しぶりに加

治木高校を訪ねました。壁に浮か
ぶ木造一階建ての校舎は、震災の
後、沢山の方々の努力、協力で、
立派な鉄筋の建物に変わっていま
しが、校庭から見るとあの階段の
大棟の柱は、六十数年前と同じで、
とても懐かしく思いました。

そして、この地で学ぶ人々に、
高校の前に中学校と言う時代があ
り、その時代にどんな事があつた
かを、良く知って欲しいと思いま
した。

私達が経験した加治木中学校
明治三十年 加治木中学校設立
明治三十七年 日露戦争
大正三年 第一次世界大戦
昭和六年 満洲時疫
昭和十二年 支那事変
昭和十六年 太平洋戦争
昭和二十年 全戦(生徒は空襲で
名死、終戦

昭和二十三年 旧制中学校終了
昭和二十三年から終
了の昭和二十三年までの、五十
一年間に五回の戦争がありました。
設立の二年前には、日露戦争もあ
りました。

昭和二十年から今日まで五十八
年間も、平和な時代が続いた事を
思うと、歴史的に見て中学校の時
代は、正に戦争の時代であった。
また日本が極東の小国から、世界
の舞台へ進出した激動の時代であ
たと言えらると思います。

人間は進歩も、その生きた時代の
影響を強く受けて育つものです。
私達が中学校に入校した頃は、健
康な者は早く軍人になり、お国の
為に一命を捧げる事が、男として
生きた者の責い持ちであり、最
高の喜びであると言ふ雰囲気が出
会にも学校にも漂っていました。

軍人の学校の名簿
多くの生徒が、陸海軍の将校に
なる道を目指しました。
第八回生の、市来政博氏(初め百
二十六名が陸軍の将校を目指して中
学一年、二年生から、幼年学校へ、
四年、五年生から士官学校へ進み
ました。そのうち二十六名の方々が
、日本を守る為に異国の地で戦
死されました。

(海軍の将校目指して海軍兵学
校等へも多数進みました)
私達の時代の事を、加治木高校
の歴史の中には是非残して欲しいと
思います。これがらの人達の為に
何らかの参考にしてもらいたいと
この寄稿をする事になりました。

現在、同窓会事務局に保管され
ては、「陸幼・陸士進学者名簿」
は、平成十四年に、永野秋則氏
(加中三十八回卒相当)、陸士五十
四期)が、中瀬戸正氏(四十四
回卒相当、陸士六十一期)の協力
を得て作成された名簿です。

国の為に、自ら進んで一命を捧
げた方々、捧げる道を進んだ人達
の名簿です。

正式な卒業以前に上級学校に進
学した人々は、「同窓会名簿」で
は「特別会員」として一括掲載さ
れていて、第何回卒相当かも不明
確ですが、その経歴を明らかにし
ました。

なにしろ戦後五十年以上経過し
ていますので、永野氏は調査の正
確を期す為、大変苦勞された
模様です。

サイパン島、テニアン島
東京の南、二五〇〇キロの太平
洋に浮かぶ小さい島々です。大正
三年の第一次世界対戦の結果、ド
イツ領であったものが、国際連盟
の委任により、日本統治地となっ
ていた島々です。丁度、フィリッ
ピンのマニラと同じ位の緯度にあ
ります。

太平洋戦争末期に、日本各地を
空襲し、広島、長崎へ原爆投下し
た米軍のB29爆撃機の基地であつ
たこれらの島は、戦争を経験した
者には絶対に忘れる事の出来な
い所です。私はこの島々を是非訪ね
てみたいと思っていました。が、昨
年九月に実現しました。

昭和十九年、日本を目指して北
上して来る米軍を阻止しようとして、
多くの日本軍がこの島に集められ
て、米軍を遊撃撃ちました。然し
誠に残念ですが、約四万の兵士と
多くの島民の方々が亡くなりました。
行って見ますと、このサイパン

行って見ますと、このサイパン